

うみカフェで 駅前に賑わいを 宇美町商工会女性部

駅前広場のシンボルである時計塔には、日建リース工業株からいただいたイルミネーションが施され、近づくクリスマスムードを演出していました。

宇美町商工会女性部主催によるうみカフェが、12月14日(土)に宇美駅前広場で開かれました。

コーヒー、タピオカ、ホットワインや焼きそば、唐揚げなどの飲食、フリマコーナーも設置され、多くの人で賑わいました。

17時からステージプログラムが始まり、ハンドベルやゴスペル、バンド演奏、子どもたちによるストリートダンスの披露、そして宇美町出身の「MOMO」さんによるスペシャルライブも行われ、駅前広場は大いに盛り上がりました。

議会広報常任委員会では、「まずは手に取って読んでいただける議会広報をつくろう」を目標に、毎月特集記事を組んでいます。

特集では町で開かれるイベントに取材に行き、主催者や参加された方々の声をたくさんお聞きしています。

町の活性化に役立てるためにも、議会広報を活用し、行政と町民の皆様をつなぐ架け橋になりたいと考えています。



宇美町出身の歌手MOMOさんの心温まる歌声が会場に響き渡る中、「宇美町に生まれ育ち、町が大好きです。商工会からお話があり、なにか自分に協力できることがあればと参加しました。

手島健太さん、パーカッションのチャーリーさんとともに参加しました。地元へ貢献したいと思います。」と地元への想いを語っていただきました。



ハンドベルのサークル「レインボークラブ」は、し〜ず・うみ(働く婦人の家)で、第2日曜日の午前中に10人で活動されています。

クリスマスの雰囲気盛り上げようと、「きよこの夜」「もろびとこぞりて」「慈しみ深き」の3曲を演奏されました。

「ハンドベルはリズムに合わせて頭も使うんです。認知症の予防にとってもいいんですよ！一緒に活動する新しい仲間も募集しています。」と笑顔で語られました。

会場でお聞きしたみなさんの「声」



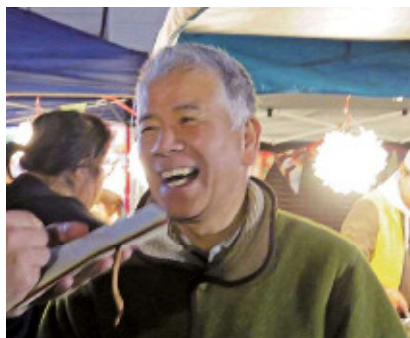
商工会女性部の皆さんが笑顔で販売されているホットワインで、心も体も芯から温まります。コーヒーとシフォンケーキのセットも大人気でした。



「楽器は弾けなくても、歌なら誰もが参加できる」をコンセプトに、青少年の健全育成と町の活性化をめざして活動されているゴスペルグループ「Umiプロジェクト」の皆さんは第1土曜日の11時からし〜ず・うみ（働く婦人の家）で活動されています。日頃の練習の成果で5オクターブの素晴らしい歌声を披露されました。



山内クリーニング店の山内光治さん。「うみカフェは雰囲気が良いですね。とにかく人が集まるのが素晴らしい。町制施行100周年が盛り上がるよう、今度博多華丸大吉さんが来た時に、しっかり宣伝しとくけんね。」



商工会長の合屋昭輝さん。「宇美町をとにかく楽しい町にしていきたい。今回は女性部が本当に頑張ってくれた。我々男衆は縁の下の力持ちとして輝く女性をしっかり支えていきます。」



原田にお住いの鬼塚正義さん。「他の市町は地域ごとに盛り上がるイベントがある。来年の町制施行100周年に向けて、各コミュニティごとに、しっかり盛り上げていきたい。」



今年宇美町に転入された光正寺にお住まいの西さんファミリー。「子どもがまだ小さいので通学時は不安でしたが、いつも見守りボランティアの方々に優しく声を掛けていただき、安心して送り出せています。

宇美町は、緑も多く子育てするにはとてもいい町です。引っ越してきて本当に良かったです。」



地域の情報やニュースをほっこりと掲載する季刊誌「うみほっこり通信」を発行されている「うみコンサル」を営む上野久子さんは、今回は趣味を生かして雑貨のフリーマーケットを出店されました。

宇美町の素敵な製品（商品）やお店をたくさん紹介したいと、チラシの企画作成等をされています。